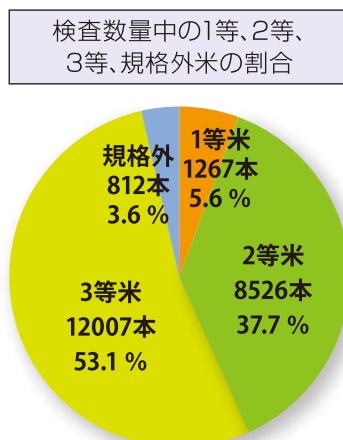
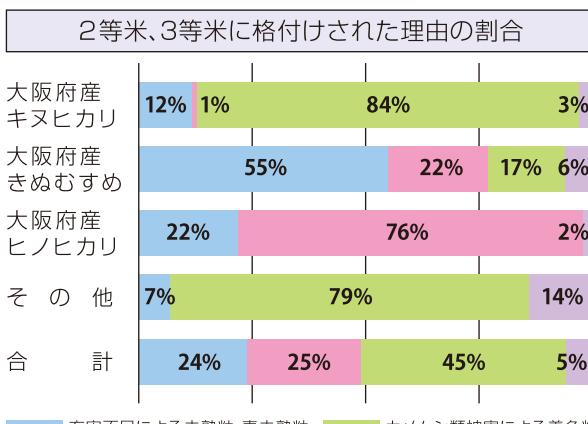




令和2年産米の報告

令和2年産米の集荷・買取数量 **22,612袋 678,360kg** (11月17日現在)



令和2年産米のJA買取分の等級割合は左図の通りです。割合は、1等米5・6%、2等米37・7%、3等米53・1%でした。今年はウンカ被害、カムシ被害、高温障害などによって品質と収穫量の低下が目立ちます。特にカムシ被害、ウンカ被害が大きいため、令和3年はしっかりと防除対策を行いましょう。

表:ウンカ類とカムシ類の防除体系

田植期	生育期	登熟～収穫期
ウンカ類に適用のある箱処理剤例 サンフェスタ箱粒剤 使用量:育苗箱1箱あたり50g 使用時期:移植3日前～移植当日	出穗	カムシ類防除適期 トビイロウンカ防除適期
ブーンゼクテラ箱粒剤 使用量:育苗箱1箱あたり50g 使用時期:播種時(覆土前)～移植当日		
デジタルメガフレア箱粒剤 使用量:育苗箱1箱あたり50g 使用時期:移植3日前～移植当日	ウンカ類、カムシ類に適用のある本田防除剤例 スタークリー豆つぶ 250g/10a 収穫7日前まで スタークリー粒剤 3kg/10a 収穫7日前まで トレボン粉剤DL 3~4kg/10a 収穫7日前まで	



↑トビイロウンカによる「坪枯れ」被害

写真:
大阪府植物防疫協会

移植時にウンカに登録のある箱粒剤を使用すると、発生を軽減できます。8月中旬以降は特に圃場をよく見回り、発生が見られる場合は農薬散布をします。ウンカはイネの株元に生息するため、散布時は株元に十分薬剤がかかるようにします。収穫間近に発生した場合は、農薬散布するか早めに刈り取りましょう。

※ウンカの発生状況については、下記の「おおさかアグリメール」で配信される情報などで把握しましょう。

元肥をやりすぎると過繁茂になります。元肥は適正量を守りましょう。密植を避け、風通しを良くしましょう。

薬剤防除

耕種的防除

カムシの防除対策

ウンカの防除対策

おおさかアグリメールについて

大阪府立環境農林水産総合研究所では、「おおさかアグリメール」の配信サービスを行っています。ご登録いただいた皆様の携帯電話やスマートフォン、パソコンに気象、病害虫、栽培技術などの情報が届きます。

アグリメールでは農産物の栽培技術や、病害虫、気象、講習会、イベント情報などを配信しています。(返信することはできません。)なお、栽培技術情報は水稻、野菜、果樹、花きのうち14の作物からお好きなものを選びいただけます。

詳しくは、研究所ホームページをご覧ください。

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/nourin/agrimail/>

配信登録はこちら

https://www.kannousuiken-osaka.or.jp/mail_magazine/entry/index/5550f5ffcc5fce8/

QRコードはこちら→

